

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	一時預かり事業(幼稚園型Ⅱ)			シート番号	014-121
担当部署名	子ども青少年	局	子育て支援	部	幼保推進
				課	評価責任者(課長名)
					長尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	1	子育て世帯への支援と負担の軽減	有
	2	事業開始年度	平成 31 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	子ども・子育て支援法・児童福祉法 堺市幼稚園型Ⅱ一時預かり事業補助金交付要綱			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	待機児童解消施策として、幼稚園における保育を必要とする2歳児を定期的に預かる制度が、国において平成30年4月から創設された。待機児童の7割以上を占める1・2歳児の受け皿確保が喫緊の課題となっていることや、これまでも子育て支援の一環として幼稚園入園前の2歳児を受け入れているケースもあることから、本市においても待機児童対策の1つとして、その活用を図ることとした。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 私立幼稚園			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市内在住の3号認定を受けた2歳児(2歳の誕生日を迎えた日から3歳の誕生日を迎えた年度末までの幼児)の受け入れを行う私立幼稚園			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	保育を必要とする2歳児を受け入れる私立幼稚園を活用して、待機児童の解消を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	保育を必要とする2歳児の受け入れを行う幼稚園に対し、経費の一部を補助する。 ※別事業で一般型と幼稚園型あり (1)一般型 園児以外の子ども一時預かり (2)幼稚園型 幼稚園や認定こども園に在籍する満3歳以上で、教育時間の前後又は長期休業中等に保育が必要な子ども一時預かり			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 私立幼稚園				

Ⅲ. 投入量

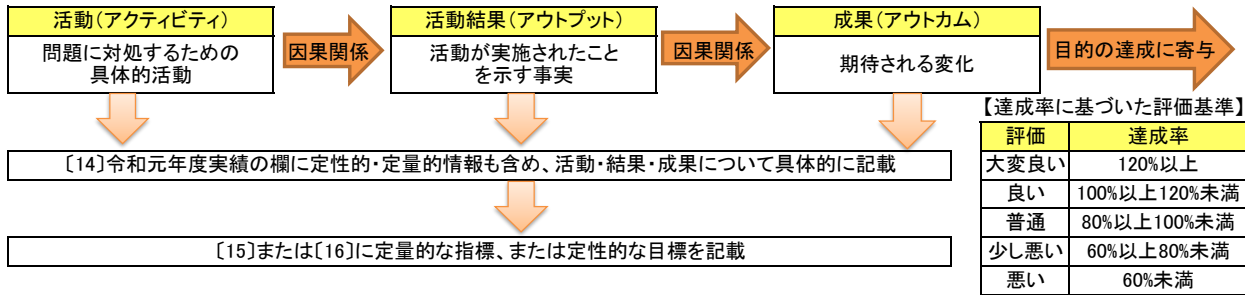
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費(a)	千円	0	0	0	0	39,503	4,751	57,059	
	主な事業費内訳	負担金及び賃借料	千円					39,503	4,751	57,059
			千円							
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円					26,334	3,168	38,038
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
	その他()	千円								
	一般財源	千円					13,169	1,583	19,021	
12	人件費(b)	千円		0		0	3,280	2,430	0	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	0	0	42,783	7,181	57,059	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	一時預かり事業(幼稚園型Ⅱ)	シート番号	014-121
-------	----------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	令和元年度は市内3園で合計54名の定員で園児募集を行い、一時預かりの利用者の年間延べ人数は2,544人であった。本事業は、幼稚園において保育を必要とする2歳児の受け入れを行う事業であることから、待機児童対策において、一定の効果を挙げていると捉えている。					
	指標名【活動指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	15	受け入れ人数	人	目標値		54	78
				実績値		54	
				達成率		100%	
				評価		良い	
	算出方法・設定根拠など		各幼稚園における受け入れ人数の合計				
	指標名【活動指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	16	待機児童数	人	目標値		0	0
				実績値		11	
達成率					-		
評価					悪い		
算出方法・設定根拠など		次年度4月1日時点の待機児童数					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	延べ利用児童数	人	0	0	2,544
	②	上記①にかかる年間経費	千円	0	0	7,181
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			2,823
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		目標の待機児童ゼロは達成できなかったものの、受け入れ人数は目標を達成した。令和2年4月1日の待機児童は過去最少人数となった。保育を必要とする2歳児の保護者の認定こども園や保育所以外の選択肢の幅は広がるため、有効性が高いと考えられる。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	一時預かり事業(幼稚園型Ⅱ)	シート番号	014-121
-------	----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検(必要性・有効性・効率性)	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 経費の一部を補助するものであり、廃止となれば、1・2歳児の受け皿が減り、待機児童の増加が予想される。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 上記20と同じ。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 経費の一部を補助するものであり、縮小となれば、今まで通りの一時預かり保育の実施が困難となる。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要があるか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 経費の一部を補助するものであり、社会経済活動の維持・回復のほか、市民や民間の活動変容に影響を及ぼすものではないため。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明	手法が限定されており、検討の余地なし。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見 本事業は、待機児童の解消が目的であるため、現状を継続しての実施が必要である。			